



中川市政は死に体。
直ちに辞職すべし！

宮越 馨（無所属）



問／今夏の異常高温対策として、全国で一番厳しいコメの作況指数も全国で最悪の93%（不作）に陥った農家に減収補てんをすべきではないか。同じ地域でJA管内も同じ妙高市では行い、上越市では行わないのは差別だ。おかしい。

答／高騰する農業生産資材費に対し18%相当、上限額20万円を支給し、小規模農業者を中心に支援する対策を講じるため問題ない。

問／高田地区の狭隘道路に私が考案した「加温式消雪パイプ」を積極的に整備すべきだ。

答／加温式消雪パイプは有効であるが、安定した水源の問題があり困難だ。

問／新潟労災病院については、国の労働者健康安全機構から移譲を受け、市が継続運営すべきである。

答／新潟労災病院の機能を全て地域内の他の医療機関に移行することで、市民が安心して受診できる医療提供体制の維持につながる。

問／中川市政2年を振り返り、市長には「分かっている者があるべき」だった、「市長になりたかっただけではだめ」だった。議会答弁は聞くに堪えない。また、リーダーシップのない市政は停滞するばかりだ。失言も多く市民をリスパクトしない市長は直ちに辞すべきだ。

答／与えられた任期の中で職務を全うすべく誠心誠意取り組んでいく。

議員定数のご意見を聴く会 を開催



12/17 ⑩ レインボーセンター



12/17 ⑨ 福祉交流プラザ



12/18 ⑨ 名立地区公民館

● 令和5年8月に設置した上越市議会議員定数検討会議では、市内3会場でご意見を聴く会を開催しました。

● 今後、お聴きしたご意見をもとに議論を深め、3月までに議長に答申する予定です。

議員定数の変遷についてはこちら



議員定数検討会議についてはこちら



お聴きしたご意見の一部を紹介

- ・市の人口は減っている。人口規模に合わせて見直すべき。
- ・議員の役割は大きい。人数を減らすことに反対する。
- ・一人ひとりの議員がしっかりと仕事をしてくれば、現在の32人のままで良い。
- ・市域が広いので、地域の多様な声を行政に届けるためには定数を増やしても良い。